

***Methanosarcina horonobensis* sp. nov., a methanogenic archaeon isolated from a deep subsurface Miocene formation**

S. Shimizu, R. Upadhye, Y. Ishijima and T. Naganuma

■ 幌延の地下約300mの珪藻質泥岩層から単離されたメタン生成古細菌の新種論文です。

■ 種名は幌延の地名にちなんで、メタノサルシナ・**ホロノベンシス**と命名しました。

■ この株は、幌延の深部地下水中で優占していた系統型と 16S rRNA 遺伝子の配列が 99.9%一致している特徴を有していました。

■ 今後、この株の性質を詳細に調べることにより、幌延の地下環境におけるメタン生成プロセスの一端が明らかになると期待されています。

■ この株は日本の JCM と NBRC、ドイツの DSMZ の 3 カ所のカルチャーコレクションに寄託されています。